

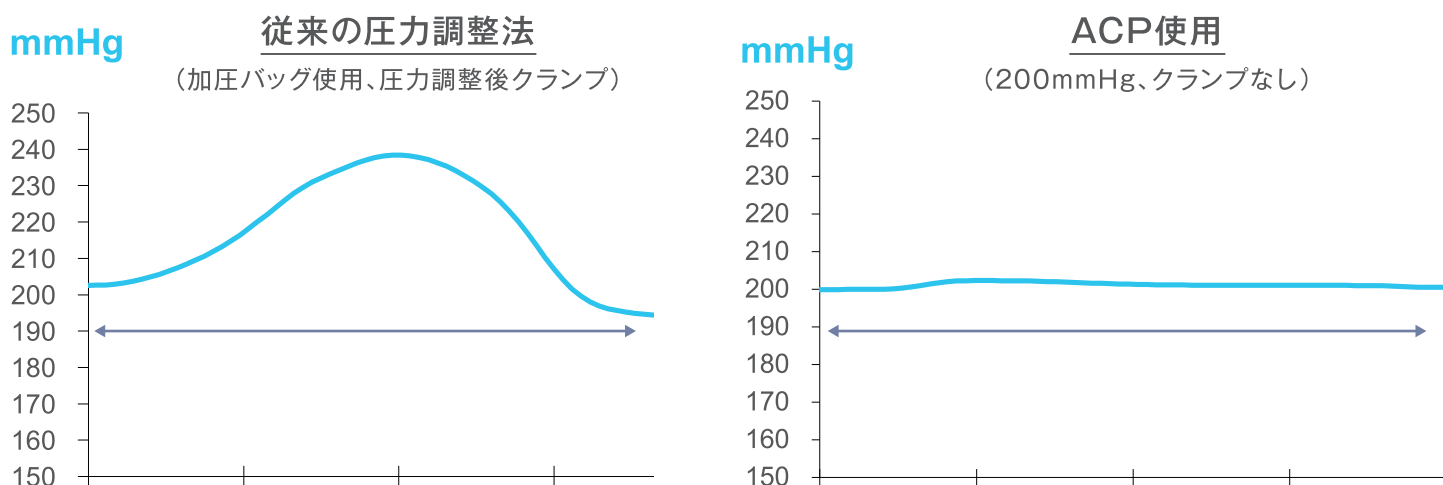
人工前房装置 圧力調整システム ACPについて

- 従来は点滴瓶や加圧バッグ、シリンジ等で調整していた人工前房装置内の圧力を、意図どおりに正確に調整できる装置です。
- 人工前房装置にACPチューブセットを接続することで、ACP本体の圧力調整機能を利用して、人工前房装置内のカット中の圧力を一定に保つことができます。*
- 人工前房装置を使用する用途全てに使用可能です。

※圧力調整後、人工前房装置に接続したチューブをクランプすると、マイクロケラトームでカットしている間、大幅に人工前房内圧が上昇することが知られています。(下図参照)



(参考) ドナー角膜カット時の人工前房装置の内圧変化



OUP-A DSAEK装置とACPを組み合わせることで、 グラフト作製の精度を高めることができます。

試験群 (それぞれn=6)	圧力 調整法	人工前房内 圧力 (mmHg)	チューブ のクランプ	カット方法	使用ヘッド サイズ	切除片 (キャップ) 厚平均 (μm)	SD	同キャップ内 厚さ (4か所) の差の平均 (μm)	SD	カット中 人工前房装置 内圧変化 (mmHg)
①	加圧バッグ	100	あり	CBm*	350	375.4	98.9	115.1	53.2	37.0
②	加圧バッグ	200	あり	CBm	350	393.3	70.8	56.4	45.1	53.5
③	ACP	200	なし	CBm	350	393.4	58.4	53.4	19.6	5.4
④	ACP	200	なし	OUP-A	350	395.5	24.6	38.8	22.3	2.3

データ提供: 東京歯科大学 市川総合病院 角膜センター・アイバンク (2016年11月)

OUP-A DSAEK装置及び周辺器具・機器



医療機器認証番号: 222AFBZX00087000
医療機器届出番号: 13B1X00229000046



株式会社 **モリア ジャパン**

〒113-0033
東京都文京区本郷3-24-2 イナミビル6F
TEL: 03-5842-6761 / FAX: 03-5842-6762
<http://www.moriajapan.com>

Manufactured by
Moria S.A.
www.moria-surgical.com